

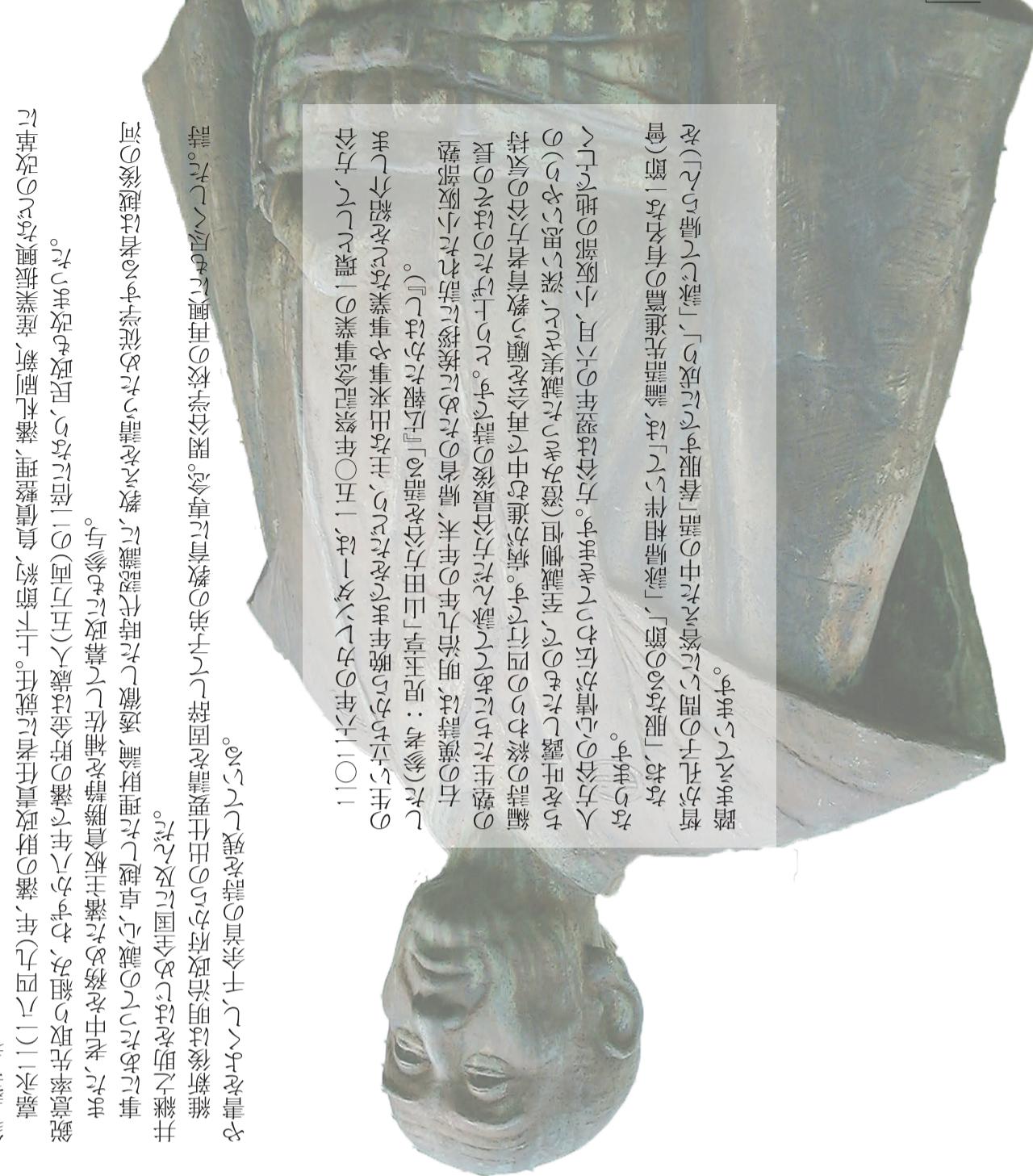
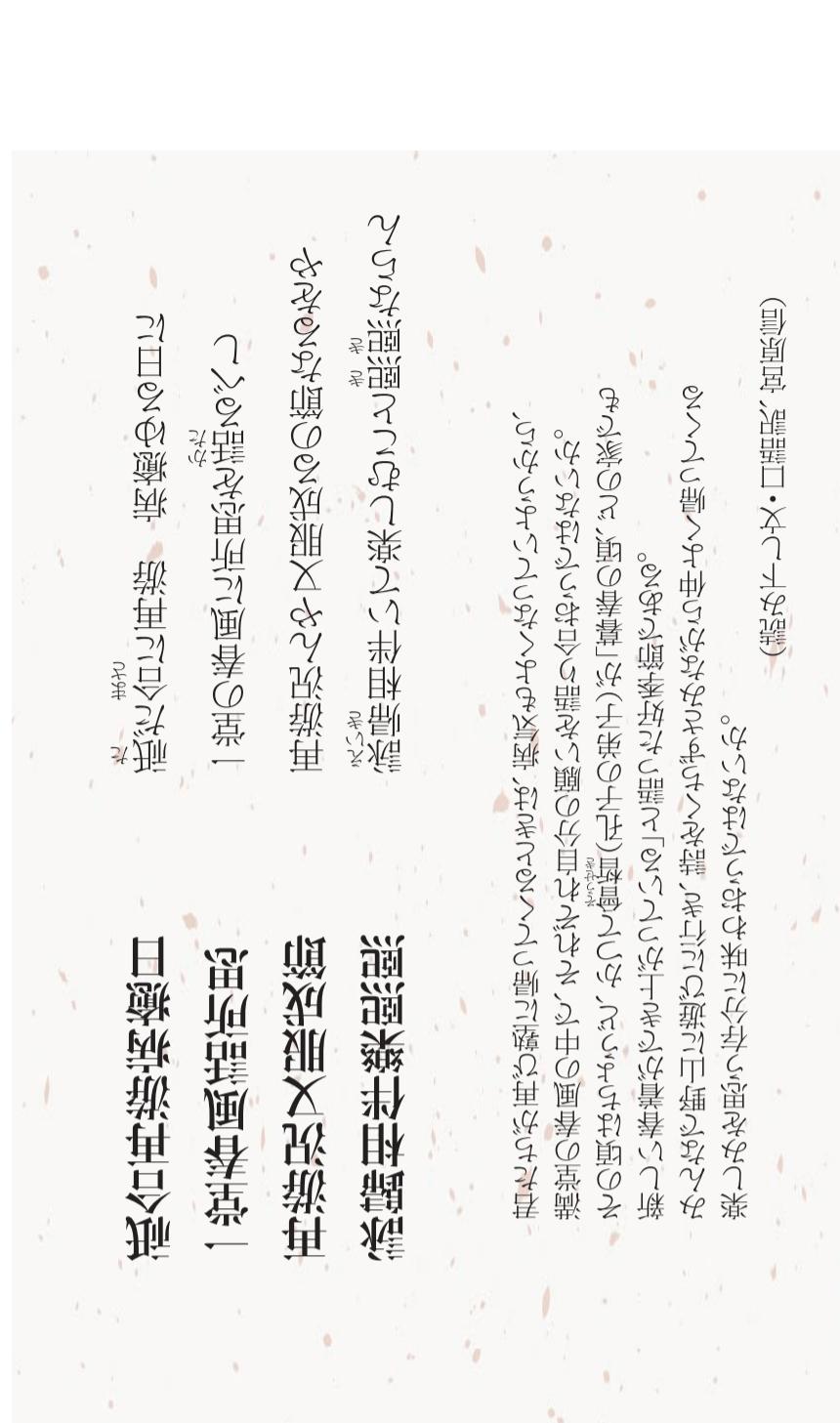
山田方谷

150年祭記念カレンダー

2026

CALENDAR

山田方谷150年祭実行委員会





山田方谷は文化二(一八〇五)年、現・高梁市中井町西方に生まれました。五歳になつた方谷は、新見の丸川松隱塾に入学しました。丸川松隱は幼い方谷を孫のように慈しみました。後年、方谷は受けた情愛を「父母の慈しみを超えていた」と回想しています。

九歳のとき、松隱塾に来た客が、勉強している方谷を見て、「坊や、学問をして何になるんだね」とひやかすように聞くと、彼はすぐによく、「治国平天下」と答えた。これは学問の目標を端的に表す言葉です。人々は驚き、「彼は神童だ」と評判になりました。

丸川松隱に学ぶ

新見市 新見市役所

山田方谷

150年祭記念事業

2026 / January

1

2025/12

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2026/2

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
28	29	30	31	1 大安 元日	2 赤口	3 先勝
4 友引	5 先負	6 仏滅	7 大安	8 赤口	9 先勝	10 友引
11 先負	12 仏滅 成人の日	13 大安	14 赤口	15 先勝	16 友引	17 先負
18 仏滅	19 赤口	20 先勝	21 友引	22 先負	23 仏滅	24 大安
25 赤口	26 先勝	27 友引	28 先負	29 仏滅	30 大安	31 赤口



高梁市中井町 方谷園

家業と学問に励む

方谷はその生涯を通じて母を強く慕い、その教えを心に刻んで生きていきました。方谷六十三歳の時に建てた母の墓碑（先妣墓碑）にその思いがよく出ていています。その母をわずか十四歳で見送った後、父も亡くなりました。そのため、十六歳の方谷が中井に帰り、家業を継ぐことになりました。

方谷は家業と学問に励んだので、文政八年（一八二五年）二十一歳の時、藩主・板倉勝職公から、藩校有終館で学習することを許されます。このことは士族なみにされたということですかね、士族に復帰したいとの願いが強かつた両親が生きていたらどれほど喜んだことでしょう。

山田方谷

150年祭記念事業

2026 / February



1	S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3				
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

3	S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 先勝	2 友引	3 先負	4 仏滅	5 大安	6 赤口	7 先勝
8 友引	9 先負	10 仏滅	11 大安	12 赤口	13 先勝	14 友引
15 先負	16 仏滅	17 先勝	18 友引	19 先負	20 仏滅	21 大安
22 赤口	23 先勝	24 友引	25 先負	26 仏滅	27 大安	28 赤口
1	2	3	4	5	6	7

天皇誕生日

建国記念の日

山田方谷生誕日



高梁市 山田方谷記念館

山田方谷

150年祭記念事業

2026 / March

3

2	S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	

4	S	M	T	W	T	F	S
5	6	7	8t	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30			

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 先勝	2 友引	3 先負	4 仏滅	5 大安	6 赤口	7 先勝
8 友引	9 先負	10 仏滅	11 大安	12 赤口	13 先勝	14 友引
15 先負	16 仏滅	17 大安	18 赤口	19 友引	20 先負	21 仏滅
22 大安	23 赤口	24 先勝	25 友引	26 先負	27 仏滅	28 大安
29 赤口	30 先勝	31 友引	1	2	3	4

春分の日

有終館学頭時代

方谷は、各藩が財政的に困つてゐる現状に対し、その対策として「理財論」を書いています。「事の外に立ちて事の内に屈せず」「義を明らかにして利を計らず」の心で、名君と賢臣が思いをこらし、ぜいたくを排除し、賄賂を禁じ、民物を豊かにし、文教を盛んにすれば財政は健全になると述べています。

江戸遊学を終えて備中松山に帰つた方谷は、天保七（一八三六）年、藩校有終館の学頭（校長）に任命されました。その後方谷は、自宅に家塾も開いています。臥牛山の麓にあつたので「牛麓舎」と呼ばれました。

藩校有終館跡

高梁市 有終館跡

山田方谷

150年祭記念事業

2026 / April

4

3
S M T W T F S
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31

5
S M T W T F S
1 2
3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23
24 25 26 27 28 29 30
31

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
29	30	31	1 先負	2 仏滅	3 大安	4 赤口
5 先勝	6 友引	7 先負	8 仏滅	9 大安	10 赤口	11 先勝
12 友引	13 先負	14 仏滅	15 大安	16 赤口	17 先負	18 仏滅
19 大安	20 赤口	21 先勝	22 友引	23 先負	24 仏滅	25 大安
26 赤口	27 先勝	28 友引	29 先負	30 仏滅	1	2

昭和の日



世子勝静を指導する

有終館と牛麓舎で教育に専念していた方谷は、四十歳になつて、藩主勝職の世子（次期藩主）の教育をも任されるようになりました。桑名藩主の第八子、寛政の改革を行つた松平定信の孫・松平寧八郎です。方谷が弟平人に送つた手紙の中に、勝静の優れた文武の才と人物が書かれています。

高梁市 備中松山城

山田方谷 150年祭記念事業

2026 / May

5

4
S M T W T F S
1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30

6
S M T W T F S
1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
26	27	28	29	30	1 大安	2 赤口
3 先勝 憲法記念日	4 友引 みどりの日	5 先負 こどもの日	6 仏滅 振替休日	7 大安	8 赤口	9 先勝
10 友引	11 先負	12 仏滅	13 大安	14 赤口	15 先勝	16 友引
17 仏滅	18 大安	19 赤口	20 先勝	21 友引	22 先負	23 仏滅
24 大安	25 赤口	26 先勝	27 友引	28 先負	29 仏滅	30 大安
31 赤口						



藩政改革

方谷は嘉永三(一八五〇)年一月に江戸から松山に帰ると、藩政改革に取り組みます。方谷は上下節約と借金返済計画を実行しながら、信用を失つてはいる藩札を回収し、嘉永五(一八五二)年九月に焼却します。その後、永錢(永札)と呼ばれる新紙幣を発行しました。また、撫育方という役所を新設して収納米以外の一切の産物を買い取り、大坂、江戸など各地に送つて販売させ、収益を役所で管理させました。さらに方谷は、吹屋の富の銅とベンガラに注目します。輸送路を築いて藩経済の活性化に努め、元治元(一八六四)年には吹屋の吉岡銅山を買収しました。

山田方谷

150年祭記念事業

2026 / June



S	M	T	W	T	F	S
5						
6	7	8	9			
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
7	8	9	10	11	12	13
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
31	1 先勝	2 友引	3 先負	4 仏滅	5 大安	6 赤口
7 先勝	8 友引	9 先負	10 仏滅	11 大安	12 赤口	13 先勝
14 友引	15 大安	16 赤口	17 先勝	18 友引	19 先負	20 仏滅
21 大安	22 赤口	23 先勝	24 友引	25 先負	26 仏滅	27 大安
28 赤口	29 先勝	30 友引	1	2	3	4

山田方谷命日



弟子を育てる

備中松山藩では、藩の力を充実し、伸長するため、藩士の文武の質の向上に力を入れました。学問では方谷の門人である進鴻渓・三島中洲などが幕府の学問所・昌平黌で学びました。こうして有能な人材が育ち、のちに藩政の上で活躍することになるのです。

また、松山藩の藩政改革の成功を聞いて、各地から人々が相次いで来ました。中でも、越後長岡藩士の河井繼之助は、安政六（一八五九）年に長瀬（今の方谷駅の所）を訪ね、藩政改革の実状を学びたいと頼んで門弟にもらいました。河井は城下の「水車」に移り、方谷門弟の進や三島なども交わっています。

高梁市 備中松山藩御茶屋「水車」

山田方谷

150年祭記念事業



6
 S M T W T F S
 1 2 3 4 5 6
 7 8 9 10 11 12 13
 14 15 16 17 18 19 20
 21 22 23 24 25 26 27
 28 29 30

8
 S M T W T F S
 1
 2 3 4 5 6 7 8
 9 10 11 12 13 14 15
 16 17 18 19 20 21 22
 23 24 25 26 27 28 29
 30 31

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
28	29	30	1 先負	2 仏滅	3 大安	4 赤口
5 先勝	6 友引	7 先負	8 仏滅	9 大安	10 赤口	11 先勝
12 友引	13 先負	14 赤口	15 先勝	16 友引	17 先負	18 仏滅
19 大安	20 赤口 海の日	21 先勝	22 友引	23 先負	24 仏滅	25 大安
26 赤口	27 先勝	28 友引	29 先負	30 仏滅	31 大安	1



幕政に関与

文久二年（一八六二）年三月、藩主勝静は幕府の政策を決定する老中に就任しました。四月には方谷が相談役として江戸に呼ばれました。方谷五十八歳の時です。この年は幕政改革が行われ、参勤交代制の緩和などが決まりました。方谷は勝静へさまざまに進言しましたが、実行されませんでした。

元治元年（一八六四）年の長州征討（第一次）時、老中に向けて出陣しました。留守中の防衛は方谷に任せられました。その後、慶応元年（一八六五年）、勝静は京都にいる将軍のもとで再び老中に就任し、方谷も時々相談にあづかつっていました。

高梁市 八重籬神社・臥牛亭

山田方谷

150年祭記念事業



7
S M T W T F S
1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31

9
S M T W T F S
1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
26	27	28	29	30	31	1 赤口
2 先勝	3 友引	4 先負	5 仏滅	6 大安	7 赤口	8 先勝
9 友引	10 先負	11 仏滅 山の日	12 大安	13 先勝	14 友引	15 先負
16 仏滅	17 大安	18 赤口	19 先勝	20 友引	21 先負	22 仏滅
23 大安	24 赤口	25 先勝	26 友引	27 先負	28 仏滅	29 大安
30 赤口	31 先勝					



京都市 二条城

大政奉還

慶応三(一八六七)年六月、六十三歳の方谷は勝静から京都に呼び出されました。勝静は十五代將軍となつた徳川慶喜のもとで老中首座となり、將軍補佐として重要な任務についていました。方谷は誠と筋道を大切にする方策を進言しました。

勝静は徳川幕府と運命を共にする覚悟で努力しましたが、將軍や幕府を説得することはできませんでした。八月、勝静は方谷に松山の藩民を守る任務を託し、別れに愛用の短刀を与えて帰国させました。大政奉還の上表文草案は方谷が作成したとの説もあります。

山田方谷

150年祭記念事業



8
S M T W T F S
1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30 31

10
S M T W T F S
1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30 31

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	31	1 友引	2 先負	3 仏滅	4 大安	5 赤口
6 先勝	7 友引	8 先負	9 仏滅	10 大安	11 友引	12 先負
13 仏滅	14 大安	15 赤口	16 先勝	17 友引	18 先負	19 仏滅
20 大安	21 赤口	22 先勝	23 友引	24 先負	25 仏滅	26 大安
	敬老の日	国民の休日	秋分の日			
27 赤口	28 先勝	29 友引	30 先負	1	2	3



倉敷市玉島 旧柚木家住宅(西爽亭)

山田方谷

150年祭記念事業

2026 / October

10

9	S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5			
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	27
27	28	29	30				

11	S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27	28	29	30	1 仏滅	2 大安	3 赤口
4 先勝	5 友引	6 先負	7 仏滅	8 大安	9 赤口	10 先勝
11 先負	12 仏滅 スポーツの日	13 大安	14 赤口	15 先勝	16 友引	17 先負
18 仏滅	19 大安	20 赤口	21 先勝	22 友引	23 先負	24 仏滅
25 大安	26 赤口	27 先勝	28 友引	29 先負	30 仏滅	31 大安



教育者方谷

明治三（一八七〇）年に門人が久世に開いた塾に、方谷は明親館と命名し、翌年、「大学」を講じています。

また、旧岡山藩士の岡本魏らの依頼を受け、明治六（一八七三）年三月、再興に尽力した閑谷学校を訪れます。以来、春秋一月ほど滞在して陽明学などを講義しています。さらに、同年に開校された柵原の知本館やその近郷に翌年開校された温知館は、弟子が開き、方谷が命名した郷学です。以後、閑谷学校への行き帰りに立ち寄つて講義しています。このように方谷は門弟が建てた塾をも助け、地域の教育発展に尽力しています。

備前市 閑谷学校

山田方谷

150年祭記念事業



2026 / November

10
S M T W T F S
1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30 31

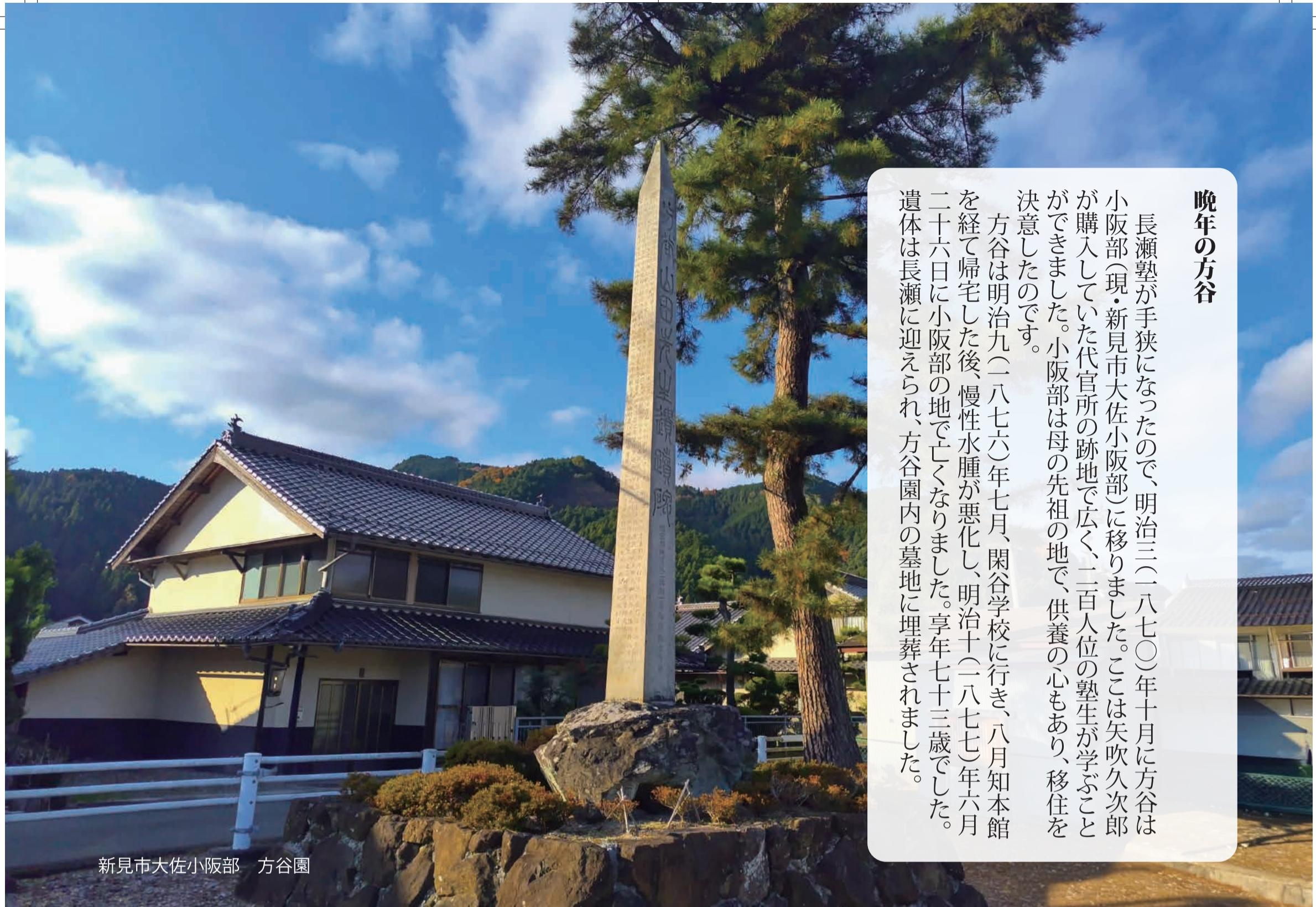
12
S M T W T F S
1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 31

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 赤口	2 先勝	3 友引 文化の日	4 先負	5 仏滅	6 大安	7 赤口
8 先勝	9 仏滅	10 大安	11 赤口	12 先勝	13 友引	14 先負
15 仏滅	16 大安	17 赤口	18 先勝	19 友引	20 先負	21 仏滅
22 大安	23 赤口 勤労感謝の日	24 先勝	25 友引	26 先負	27 仏滅	28 大安
29 赤口	30 先勝	1	2	3	4	5

晩年の方谷

長瀬塾が手狭になつたので、明治三（一八七〇）年十月に方谷は小阪部（現・新見市大佐小阪部）に移りました。ここは矢吹久次郎が購入していた代官所の跡地で広く、二百人位の塾生が学ぶことができました。小阪部は母の先祖の地で、供養の心もあり、移住を決意したのです。

方谷は明治九（一八七六）年七月、閑谷学校に行き、八月知本館を経て帰宅した後、慢性水腫が悪化し、明治十（一八七七）年六月二十六日に小阪部の地で亡くなりました。享年七十三歳でした。遺体は長瀬に迎えられ、方谷園内の墓地に埋葬されました。



新見市大佐小阪部 方谷園

山田方谷

150年祭記念事業

2026 / December
12

11
S M T W T F S
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30

2027/1
S M T W T F S
1 2
3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23
24 25 26 27 28 29 30
31

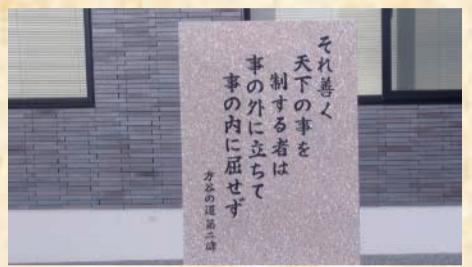
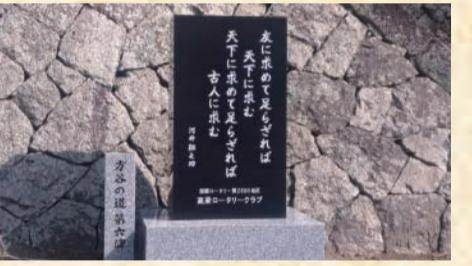
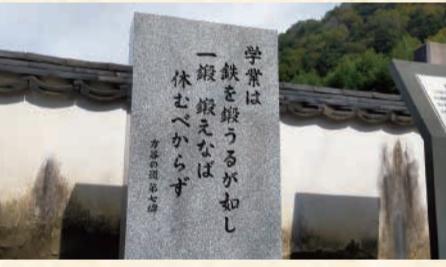
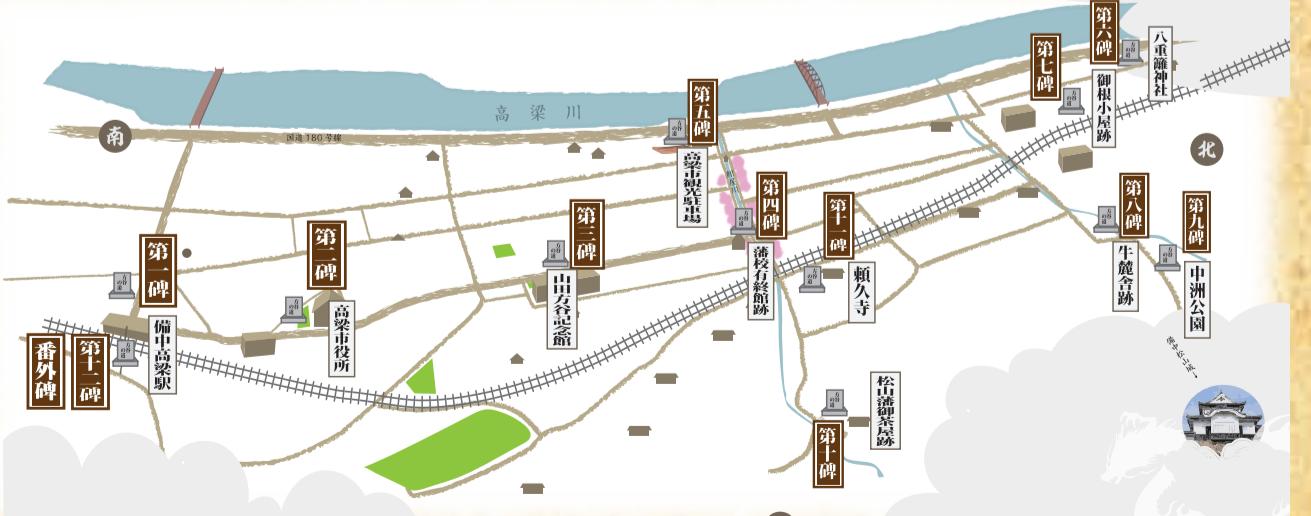
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
29	30	1 友引	2 先負	3 仏滅	4 大安	5 赤口
6 先勝	7 友引	8 先負	9 大安	10 赤口	11 先勝	12 友引
13 先負	14 仏滅	15 大安	16 赤口	17 先勝	18 友引	19 先負
20 仏滅	21 大安	22 赤口	23 先勝	24 友引	25 先負	26 仏滅
27 大安	28 赤口	29 先勝	30 友引	31 先負	1	2

「方谷の道」十二碑

「方谷の道」十二碑は、高梁市の郷土の偉人・山田方谷の残した名言が刻まれた石碑で、城下町高梁の各地にある方谷ゆかりの地を散策しながら、方谷の思想を学ぶことができます。

距離：約6キロ

所要時間：2時間30分（石碑見学時間含む）。

 <p>第一碑 至誠惻怛 (備中高梁駅西口ロータリー)</p>	 <p>第二碑 それ善く天下の事を制する者は、事の外に立ちて、事の内に屈せず。 (正宗公園)</p>	 <p>第三碑 義を明らかにして利を図らず。 (方谷記念館)</p>
 <p>第四碑 我が心に嫌なれば、人にもさせず。 我が心に好めば、人にも及ぼす。 (藩校有終館跡前)</p>	 <p>第五碑 天に順ふて人道を尽す。 其道は大公のみ。至誠のみ。 (高梁市観光駐車場)</p>	 <p>第六碑 友に求めて足らざれば、天下に求む。 天下に求めて足らざれば、古人に求む。 (八重籬神社)</p>
 <p>第七碑 学業は、鉄を鍛うるが如し。 一鍛、鍛えなば、休むべからず。 (御殿坂)</p>	 <p>第八碑 総て学問は、存心、致知、力行の三つなり。 (牛麓舎跡)</p>	 <p>第九碑 分けてみよ。今は篠のしげるとも、 中に直ぐなる道のありしを。 (中洲公園)</p>
 <p>第十碑 誠心より出ずれば、 敢へて多言を用いす。 (御茶屋)</p>	 <p>第十一碑 学問の道は誠意のみ (山田方谷先生寓居跡・頼久寺)</p>	 <p>第十二碑 平天下 (備中高梁駅東口ロータリー)</p>
 <p>番外 我が州の風土は本より雄豪。鉄氣は山に籠り、山勢は高し。更に人心の剛なること、鉄に似たる有り。鍛磨して一たび就れば、刀よりも利し。(備中高梁駅東口ロータリー)</p>	 <p>A detailed map of the 'Mori-no-Michi' 12 Stone Monument Route in Takamatsu City, showing the locations of the 12 stone monuments, the Takamatsu River, and various landmarks like the Takamatsu Station, Takamatsu City Hall, and the Shikoku Main Line. The map also includes directional markers (South, North, East, West) and a compass rose.</p>	